

全学科目履修 ガイドブック2019

Kwansei Gakuin University Common Learning Program

学部の垣根を超えた多様な学び



教務機構長メッセージ

皆さんは普段、それぞれの所属学部の独自カリキュラムに基づき、専門科目やゼミナール等を履修し、自らの専門性を高めています。それは大学生として何よりも大切なことです。

そして、その専門性を更に高めていく上で、重要なのが「全学科目」です。

「友人もびっくりのプレゼンをしてみたい」、「専門的な力を違うフィールドで活かしてみたい」、「もっとリテラシー（言語やICTスキル等）を強化したい」、「自分の将来と専門性との結びつきをしっかりと考えておきたい」と思ったときに、「全学科目」は、使い勝手のよい「工具箱」として機能します。

学部の科目とはちょっと違ったベクトルで、自分の「学び」を強化・応用・実践できる、それが関西学院大学の「全学科目」です。試してみないのは、もったいないでしょう。

学部の垣根を超え、「広く」「深く」学べる全学

言語教育科目

グローバル社会で活躍するために不可欠な言語運用能力と多文化理解力を磨こう!

P.3

第1学年

入門英語ⅠA・ⅠB
 スプリング・インテンシブ・イングリッシュ
 インテンシブ・イングリッシュ
 Skills-based English
 Special English Seminar
 フランス語インテンシブ初級Ⅰ
 基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
 フランス語アラカルト(聞く・話す)A・B・C
 ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ
 基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A・B
 日本語Ⅰ・Ⅱ※
 ロシア語初級Ⅰ・Ⅱ・初中級
 イタリア語初級Ⅰ・Ⅱ・初中級
 スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・中級
 ポルトガル語初級Ⅰ・Ⅱ・初中級
 アラビア語初級Ⅰ・Ⅱ・初中級
 基礎中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
 中国語中級
 朝鮮語初級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・中級
 インドネシア語初級Ⅰ・Ⅱ・初中級
 日本手話初級Ⅰ・Ⅱ

第2学年

入門英語ⅡA・ⅡB
 英語中期留学マウント・アリソン大学
 英語中期留学クイーンズ大学
 英語中期留学トロント大学スピーキング
 英語中期留学トロント大学
 英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学
 英語中期留学オックスフォード大学
 英語中期留学ゲルフ大学
 英語中期留学ネブラスカ大学
 英語中期留学ケンブリッジ大学
 英語中期留学クイーンズランド大学
 英語中期留学マラヤ大学
 英語中期留学ソノマ州立大学
 英語中期留学レスター大学
 英語中期留学ワイカト大学
 フランス語インテンシブ初級Ⅱ・Ⅲ
 フランス語中期留学
 フランス語アラカルト(読む)
 フランス語アラカルト(書く)
 ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ・Ⅲ
 ドイツ語アラカルト(読む)
 ドイツ語アラカルト(書く)
 日本語Ⅲ・Ⅳ※
 スペイン語中期留学

第3・4学年

フランス語インテンシブ中級
 ドイツ語インテンシブ中級
 ビジネス日本語A・B・C※

※外国人留学生対象

スポーツ科学・健康科学科目

身体運動や心身の健康について学ぼう!

P.4

第1学年

スポーツ科学講義A・B・C・D
 健康科学講義A・B・C
 体育方法学講義A・B・C

余暇生活学講義A・B・C
 スポーツ科学演習A・B・C・D・E・F
 健康科学演習A・B・C・D・E

体育方法学演習A・B・C
 余暇生活学演習A・B・C・D・E・F

情報科学科目

情報化社会をリードするICTスキルを修得しよう!

P.5

第1学年

コンピュータ基礎
 コンピュータ実践

コンピュータ言語
 文科系学生のための情報技術入門

第2学年

情報技術概論

AI活用人材育成科目

AIを活用して新たな未来、価値を創造できる人材になろう!

<2019年度新設>

P.6

第1学年

AI活用入門
 AI活用導入演習A
 AI活用導入演習B

第2学年

AI活用実践演習A (JavaによるWebアプリケーションデザイン)
 AI活用実践演習B (Pythonによる機械学習・深層学習)
 AI活用実践演習C (Webデザイン)
 AI活用データサイエンス実践演習I

第3学年

AI活用データサイエンス実践演習II
 AI活用発展演習I
 AI活用発展演習II

グローバルスタディーズ科目 多様な国際教育プログラムでの学びで“グローバルな視野”を修得!

P.7~8

第1学年	第2学年	第3・4学年
Language and Communication Culture and Society Academic Writing and Presentation Project-based Seminar in English 海外学習活動(ドイツ) English for Cross-Cultural StudiesA・B 海外フィールドワーク 国際情報分析 国際環境論 教育開発論 国際平和構築論 プロジェクトマネジメントI 世界市民論 グローバルゼミA 日本文化総論 日本政治総論 日本史概略 日本企業文化論 インドネシア交流セミナーA・B トルコ交流セミナーA・B 海外異文化体験セミナー カナダ研究入門A・B 北欧研究入門 グローバルスタディーズ入門 留学とキャリア設計 International Scholar's TopicsA・B 外国大学科目 総合日本学習科目 CCC Introduction to Multicultural Studies CCC Introduction to International Relations CCC Cross-Cultural Workshop 日本語教育基礎 日本語教育基礎演習	国連セミナー 国連ユースボランティア実習 国連ユースボランティア課題研究 国際社会貢献実習 国際社会貢献課題研究 プロジェクトマネジメントII International Politics and EconomyA・B カナダ研究マウント・アリソン大学 国際研究マウント・アリソン大学 カナダ研究トロント大学 Topics in Canadian StudiesA・B・C・D 海外社会体験実習(オーストラリア) インターンシップ準備演習(オーストラリア) 海外社会体験実習(マレーシア) CCC Global Internship in Japan CCC Field Study in Canadian Business CCC Global Career Seminar in Japan CCC Global Career Seminar in Canada マレー文化研究	グローバルゼミB

ライフデザイン科目 自分の将来や生き方について考え、人生観や世界観、職業観を実践的に養おう!

P.9~10

第1学年	第2学年
ライフ・キャリア概論 ライフデザインと仕事A・B ライフ・キャリア入門演習 ライフ・キャリア実践演習 ライフ・キャリアリーダーシップ実習	インターンシップ実習 キャリアゼミA・B・C 霞が関セミナー 海外インターンシップ ハンズオン・インターンシップ実習

基盤・学際科目 関学で学び、成長するために必要な科目を学ぼう!

P.11~13

第1学年	第2学年	第3学年
「関学」学 災害復興学入門 災害復興学 人権教育科目 総合コース スタディスキルセミナー 寄附講座 連携講座 西宮市大学共通単位講座 平和学「広島・長崎講座」 平和学特別演習「ヒロシマ」 社会探究入門 社会探究リサーチ・ベーシックA・B 社会探究実習I・II 社会探究実践演習I・II PBL特別演習	総合コース 連携講座 コンソーシアムひょうご神戸講座	総合コース

備考：①履修の可否、卒業必要単位数への算入の可否は学部によって異なる場合があります。詳細は所属学部の履修心得等を参照してください。
 ②2012年度以前入学生は、科目の категорияが異なります。
 ③学年は、履修基準年度を表しています。



世界市民として必須の言語運用能力と多文化理解力を育成

世界市民として必須の言語運用能力と多文化理解力を育む科目群です。ネイティブ教員によるレベルに合わせた英語を学べる科目や、様々な言語の基礎を学ぶ科目などがあります。また、一部の海外留学、研修において修得できる言語科目や留学生のための日本語科目も含まれます。



言語教育科目のカリキュラム

■英語インテンシブ・プログラム

ネイティブ教員による少人数、週複数回の集中的な授業で、総合的な英語力をアップ。学習目的やレベルに応じて科目が用意されているので、段階的に学習することが可能です。

■フランス語／ドイツ語インテンシブ・プログラム

週複数回の集中的な授業で、実践的、総合的な言語運用能力を身につけます。

■選択言語科目

イタリア語、ロシア語、アラビア語、日本手話などを提供。言語を学ぶことを通して、多様な文化に触れることができます。

→詳しくは、言語教育研究センター発行
「Language Programs 2019
インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ」

■日本語科目 (外国人留学生対象)

総合的な日本語能力を向上させる日本語Ⅰ～Ⅳや、今後の日本での就職も視野に入れた学生向けにビジネス日本語を提供しています。

→詳しくは、日本語教育センター発行
「日本語科目履修案内」



Check!

「英語インテンシブ・プログラム」レベル別・学習目的別の授業でレベルアップ!!

インテンシブ・イングリッシュ・コース (秋学期開始コース) ※

学部で必修 (または選択必修) の英語科目に代わり、オールイングリッシュでのレベル別の集中授業を履修するコース。「聞く・話す・読む・書く」の4技能のレベルアップを図ります。

申込期間: 6月10日 (月) ~ 6月21日 (金) 16:00

言語教育研究センターHPよりWebで申し込み

※神・文・社会・法・経済・商・人間福祉学部が対象

Skills-based English

初級者向けの「Basic」をはじめ、レベル別の「Speaking & Listening」や「Writing」「Reading」、上級者向けの「Academic」、そして実務に活かせる「Business」や、資格ごとにスキルアップを目指す「TOEFL」「TOEIC」「IELTS」など、幅広いラインナップを用意しています。



身体運動や心身に関する知識の修得から QOL向上を目指す

身体運動や心身に関する分野を学問的体系ごとに4分野に集約し、それぞれ講義科目と演習科目を提供しています。
心身に関する知識の修得や身体運動を通じて、「Quality of Life : QOL」(今後の豊かな人生)の向上を目指します。



スポーツ科学・健康科学科目のカリキュラム

■スポーツ科学科目

スポーツ科学的視点からプロ野球選手の各種データを分析する講義科目、バドミントン、バレーボール、卓球などの競技ルールや技術の修得、体力の向上を通じて、生涯にわたりスポーツを楽しむ基礎作りを行う多様な演習科目を提供しています。

■健康科学科目

現代社会における心身の健康に関して、特に大学生に関する諸問題について学ぶ講義科目、学内トレーニング施設を主に利用しながら、健康維持、増進のためのトレーニング方法を学ぶ演習科目を提供しています。

■体育方法学科目

中学校や高等学校の教員免許取得のための科目です。学校教育や社会教育の現場で必要とされる体育・スポーツの指導方法の学習、知識、技術の習得を目的としています。

■余暇生活学科目

8月、2月に3日～5日間の集中授業で、レクリエーション活動における身体活動の知識や技術を学ぶとともに、集団生活を通じて人間関係やモラルへの理解を深めることができます。
＜夏期＞キャンプ ＜冬期＞スキー・スノーボード



Pick up 科目

余暇生活学演習C 夏期アウトドア (キャンプ)



8月、実際に2泊3日のキャンプを行います。野外活動に必要な技術を修得するだけでなく、Jリーグのチームでも取り入れられているチームビルディングやコミュニケーション力を養う『ASEプログラム』の学修を通して、本来あるべき人と人とのつながりについて理解を深めることを目的としています。

余暇生活学演習D 冬期アウトドア (スキー・スノーボード)



2月、梅池高原で前半スキー(1.5日)後半スノーボード(2.5日)の実習を行います。安全かつ効率よく滑る技術、知識を学ぶことでスノースポーツの楽しさを存分に味わえるようになります。集団生活で生まれる連帯感、他者への理解も魅力の一つです。



ICTスキルで情報化社会をリード!

情報化社会を生き抜くために必要となるICTスキルの習得を目指した科目群です。

Word、ExcelといったMicrosoft Officeの基礎的な使い方だけでなく、Photoshop (画像処理) やFlash (マルチメディア) といった各種アプリケーションソフトを用いた実践的なスキルも習得できます。

また、プログラミング言語や講義などの学びを通じて、さまざまな情報科学の知識を学ぶことができます。



情報科学科目のカリキュラム

■コンピュータ基礎

大学では、授業での課題、レポートや発表資料、さらには卒業論文等をWord、Excel、PowerPointなどを使用して作成することになります。また、課題・レポートの提出には、本学のLearning Management System (LUNA) を利用する授業科目もあります。これらに対応できる基礎スキルを習得し、大学での学修活動において必要となる情報活用能力を養成します。さらに、現代社会で必要とされる情報倫理についても学びます。

■コンピュータ実践

多様なアプリケーションソフトを用いて、大学での研究や卒業後に実社会で求められる文書作成能力、データ分析力、プレゼンテーション等での表現力を養成します。また、ホームページ作成、サウンドメディア、マルチメディア等では、様々なソフトウェアを利用してパソコンによるコンテンツ制作手法の基礎を習得します。

■コンピュータ言語

Java言語、C言語などプログラミング言語を学びます。プログラミングの理解を通じて、論理的思考力や課題解決能力を養います。

■講義科目

情報技術に関する入門科目を通じ、身近に存在する情報関連機器で使われている技術とその開発、発展の歴史的背景に理解を深め、社会の一員として情報を取り扱うための知識を身につけます。



Pick up 科目

コンピュータ言語 (Java言語)

情報通信技術 (ICT) の発展により、私達の生活には様々なシステムが導入され、より豊かなものとなっています。目には見えませんが、このようなシステムは「プログラム」によって構築されています。この授業では、これからのAIやIoTの時代を迎えるにあたり、必要とされるプログラミングに関する基礎力をJava言語でアニメーションを作成しながら身に付けます。



～「Society5.0」の時代に、新たな未来、価値を創造～

本学と日本IBMが共同開発した「AI活用人材育成プログラム」では、今後の社会で益々必要とされるAI活用人材（AIやデータサイエンス関連の知識を持ち、それらを活用して現実の諸問題を解決できる能力を有する人材）を育成します。基礎から実践、応用まで段階的に学べるように設計（詳細は以下のカリキュラムツリー参照）していますので、文系・理系関係なく、AIやプログラミング等に関する特別な知識やスキルがなくても履修できます。AI/Big Data/IoT技術などによるデジタル革命が、生活・産業・雇用など社会の在り方を大きく変える「Society5.0」の時代に、社会課題を解決し、新たな価値を創造し、「AI戦略」を推進できる人材をめざしましょう。



AI活用人材育成科目のカリキュラム

■AI活用入門

まずは、AIに関する基礎的な知識を修得します。産業構造の変化や今後必要とされるスキル等の社会背景、AI技術に関する基礎知識、AI活用に必要な不可欠なデータサイエンスに関する基礎知識、AIを利用したアプリケーションを開発するための基礎知識を学びつつ、適宜ワークを挟みながら、学んだ知識を実際に活用していきます。

■AI活用導入演習A・B

続いて、AIを利用したアプリケーション（言語解析：A、非言語解析：B）に関する基礎的な技術を修得します。そのために、自然言語処理や音声認識や画像/動画解析などの仕組み、AIを利用するためのAPI(Application Programming Interface)に関する知識を学んだ上で、AIを利用した様々なアプリケーションを実際に開発します。

■AI活用データサイエンス実践演習I・II

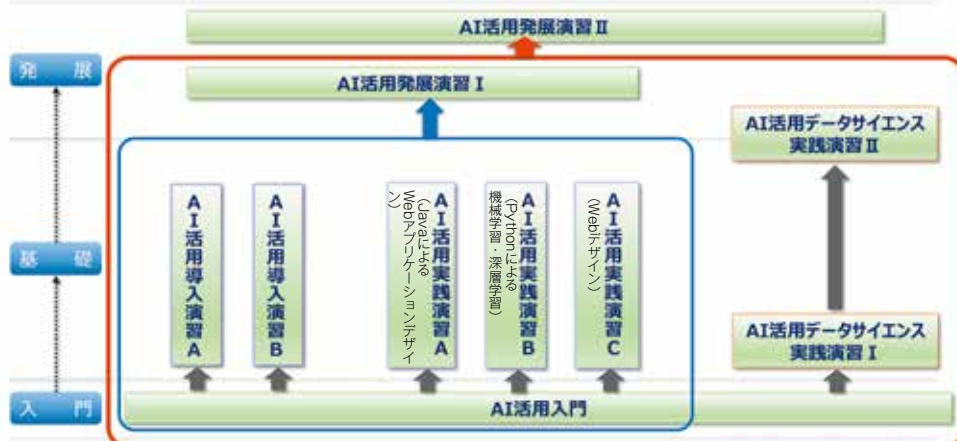
AIを活用するために必要不可欠なデータ解析の知識や手法だけではなく、様々な問題解決フレームワーク・マーケティングフレームワークや、データ解析結果を適切に伝達するためのプレゼンテーション手法を学びます。実際のコンサルタントがデータ解析して提案をまとめるプロセスも学ぶことにより、ビジネスの現場でデータサイエンスを活用するスキルが修得できます。



上記の他、2020年秋学期には企業や自治体等が抱える実際の課題に対して、チームでソリューションを提案するプロジェクト科目の「AI活用発展演習」の開講も予定しています。ビジネスの現場でも役立つ実践的なプログラムで自分の可能性を拓こう！

AI活用人材育成科目 カリキュラムツリー

矢印は全て先修条件を示しています。





知らなかった世界を知り、 知らなかった自分を知る

グローバル化した社会において、優れた“国際的視野”と“言語運用能力”を身につけることは、世界で活躍する人材へ近づく第一歩です。初年次より個々の目標にあわせて留学準備・スキルアップ科目、国際ボランティアプログラム準備科目を履修することで語学力のアップおよび海外留学準備を整え、在学中に海外へ、帰国後には海外の学生とキャンパスで共に学ぶ科目を履修することにより、グローバル人材として必要な能力をより伸ばさせるカリキュラムとなっています。



グローバルスタディーズ科目のカリキュラム

■ 留学準備・スキルアップ科目群

- 留学に必要な英語力向上を目指す（英語で実施）
（対象科目）English for Cross-Cultural Studies A, B
- 留学を活かしたキャリア設計と留学先の知識向上を目指す
（対象科目）留学とキャリア設計、グローバルスタディーズ入門、北欧研究入門など
- 外国人に日本語・日本文化を伝える力を修得する
（対象科目）日本語教育基礎、日本語教育基礎演習

■ 国際ボランティアプログラム準備科目群

国際社会の課題や世界情勢を理解し、情報分析や課題解決の手法を学ぶための科目を提供しています。
（対象科目）世界市民論、国際情報分析、国際環境論、教育開発論、プロジェクトマネジメントI、グローバルゼミAなど

■ 海外の学生とキャンパスで共に学ぶ科目群（英語で実施）

本学に交換留学に来ている学生向けに提供されている科目や海外協定大学の教員が担当する科目を履修することで、学内で留学体験をすることができます。留学後の継続学習としても効果的です。クロス・カルチュラル・カレッジ (CCC)、KGU Summer Schoolなどのプログラムに関わる科目も提供しています (P.12参照)。

（対象科目）総合日本学習科目、
Topics in Canadian Studies、
CCC関連科目など

詳しくは、国際教育・協力センター発行
「国際教育・協力プログラム募集要項」
または、言語教育研究センター発行
「Language Programs 2019
インテンシブ・プログラムと言語学習のすすめ」



Pick up 科目

世界市民論

「貧困」「人権」「教育」「保健衛生」「外交問題」など国際社会に横たわる課題とそれらの解決に貢献する事例を紹介し、実際に社会の中で活躍している関学OB/OGからのリアルな経験談を学びます。その上で、大学において専門領域を如何に学び、国際関連プログラム等をどう活用するのか、スクール・モットー“Mastery for Service”の精神をどのように体現していくのかについて考えます。



Check!

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム Cross-Cultural College (CCC)



関西学院大学とカナダの3つの協定校（マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、トロント大学）が協働で運営するバーチャルカレッジです。日本とカナダの学生がともに課題に取り組むことにより、異文化に対する理解力やコミュニケーション能力、グローバル社会の第一線で活躍できるスキルを身につけた学生を育成します。

CCC 修了証プログラム (Certificate Program)

【TOEIC®680点相当以上の英語能力を有する学部生を対象】

◆修了要件

所定のCCC修了証対象科目16単位の修得に加えて、TOEIC®820点相当以上の英語能力の証明により修了となります。修了者には、4大学が協働で運営するCCCから修了証書が授与されます。

◆このような学生にお勧めです

- ・グローバル社会に出際に活かせる実践力を身につけたい
- ・英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- ・中期留学や交換留学などからの帰国後も英語力を維持、向上させたい
- ・早期に修了証書を手に入れて、就職活動でアピールしたい



◆カナダの学生と寝食を共にしながら力を合わせて学ぶユニークなプログラム

CCCは、多国籍な場面で活躍できる能力を養うべく、日本とカナダの学生が協働して課題を発見し、解決策を立案・実行する実践的な科目を提供しています。

Global Internship

日加の学生がペアとなり、国際展開に積極的な企業・団体等で日本で約1週間のインターンシップを行うプログラムです。

※インターンシップ先(2018年度実績)
日本アイ・ピー・エム(株)、阪急電鉄(株)、
(株)ウィズダムアカデミー

Global Career Seminar

日加学生混成のグループを組み、企業・団体等から提示された国際展開等に関する課題について、解決策を立案するプログラム。グループ内でディスカッションを重ね、最終的に企業への発表を行うことで、多国籍な場での合意形成を体感します。

※協力企業・団体(2018年度実績)
日本：日本アイ・ピー・エム(株)、カナダ大使館、(株)リコー 他
カナダ：UNIQLO Canada、KUBOTA Canada、Air Canada 他



Check!

北米協定校から講師陣を招き、留学生と共に学ぶ短期集中プログラム

KGU Summer School

～留学後に履修する科目としてお勧め!～

6月上旬～7月中旬の約5週間、北米トップレベルの協定校から招聘した教員が中心となり、日本の文化や経済、ビジネス、政治などをテーマにし、集中講義を実施します。

留学生とのディスカッションやフィールドトリップを通して、日本についての理解を深化させ、異文化コミュニケーション力を磨いてみませんか。

POINT1 北米トップ大学のレベルの高い授業を閑居ながら受講できる!

POINT2 協定校の学生と日本や東アジアをテーマにアクティブに学ぶ!

POINT3 交換留学後の履修科目として最適!

(プログラム詳細はCIECホームページ参照ください。)



自分の生き方、働き方を考え、 社会で求められる実践力を鍛える

ライフデザイン科目は「将来どのようなキャリアを歩んでいきたいのか」「実現するためには自分に何が必要か」を考え、大学で主体的に学ぶよう設計されています。社会で求められる能力・姿勢は何かを理解し、インターンシップ（職場体験）や地域、自治体、企業と連携したプログラムを通して、社会で働くことの意味を学ぶとともに、社会で活躍するために必要な実践力を鍛えます。



ライフデザイン科目のカリキュラム

■ライフ・キャリア科目

生涯を通したライフキャリア（人生）とワークキャリア（仕事）について考えるキャリア教育基幹科目です。自分と他者と社会の関係性を、理論と実践を通して学びます。

ライフ・キャリア概論：とりまく社会の現状や業界・企業の動向について学び、職業観と勤労観を（講義形式）醸成していきます。めまぐるしく変化する環境において学び続けること、働くこと、社会を生き抜くことについて考えます。

ライフ・キャリア入門演習：自分と他者、社会について様々なワークを通して議論します。大学で（少人数の演習形式）学ぶ意味、働く意味と目的、自分の強みやキャリアのあり方について理解し、卒業後も見越した自分のキャリアをデザインしていきます。

ライフ・キャリア実践演習：会社の組織や大学時代のチーム活動等において、どのようにリーダーシップを（少人数の演習形式）発揮し、人間関係を構築していくか、その理論や構造を学び、実践（ディスカッション・社会人インタビュー等）を通して習得していきます。

ライフ・キャリア発展演習：日々変化する社会に挑み自律的にキャリアを形成することについて、（少人数の演習形式）諸先輩の多様なキャリア（転機）をケーススタディし、理論を通して学んでいきます。日常生活のあらゆる場面を「成長の場」として意味づけ、常に柔軟に進化し続けることの価値について議論します。

ライフ・キャリアリーダーシップ実習：学内での事前・事後授業、東京合宿（1泊2日）を通して、リーダーシップの基礎を学び、その後の大学生活に活かしていきます。東京合宿では他大学との学生交流、都内の企業での講義、チームでの企業訪問を実施し、リーダーシップを体得します。

■ライフデザインと仕事

実社会で活躍するビジネスパーソンが登壇します。企業や職務の説明にとどまらず、登壇者のキャリア（職業選択、働きがい、ビジョン等）についてもうかがえ、それぞれの共通点や相違点を議論しながら、企業で働くことや生涯を通したキャリア形成について学んでいきます。

【A】：主に日系企業の社員が登壇します。演習形式で授業を行います。

【B】：主に外資系企業の社員が登壇します。演習形式で授業を行います。

■インターンシップ実習

インターンシップでの経験をもとに、事前研修と事後研修を通して参加者同士で学びを深めていきます。インターンシップ参加日数の規定により単位を認定します。

■海外インターンシップ

夏季／春季休暇に約4週間にわたり実施する、アメリカ（ロサンゼルス）／ベトナム（ハノイ）でのインターンシッププログラム。現地では日系企業での仕事体験に加え、ビジネスパーソンから学ぶセッションやフィールドワーク等の多様な経験から海外で働くことについて学びます。なお、ベトナムではベトナム商業大学（本学協定校）の学生との交流も予定されています。

ライフデザイン科目のカリキュラム

■キャリアゼミ

社会の第一線で活躍するOBOGやビジネスパーソンを講師に迎え、講義やグループワークなどを通して、将来のキャリアについて考えを深めるとともに、社会で活躍するために必要な能力や思考法を、実践的に鍛えていきます。

【A】：講義やグループワーク、社会人OBOGとのセッションを通じて、これからの人生と社会をイメージし、「生き抜く力」を養成するための考え方を学ぶ導入科目です。

【B】：企業や社会の問題に、社会人OBOGと学生の混成チームで挑む、課題発見&解決型の科目です。チームビルディングやファシリテーションなど、社会で活躍するために必要な能力や考え方を学びます。(東京合宿2泊3日+事前・事後研修を含む集中科目)

【C】：OBOG企業家とのセッション、キャリアデザインの講義、チームプロジェクトから構成され、これからの社会で求められるリーダーシップやアントレプレナーシップを、人事の最前線で活躍するビジネスパーソンから、実践を通して学びます。(東京合宿3泊4日+事前・事後研修を含む集中科目)

■霞が関セミナー

将来、国家公務員(官僚)として中央省庁で働くことに関心のある学生を対象にしています。現役官僚の方々を講師に迎え、仕事内容や国家公務員として活躍するのに必要な知識や資質・能力について理解し、将来のキャリアビジョンやアクションプランを描く機会とします。(東京合宿3泊4日+事前・事後研修を含む集中科目)



Check!

ハンズオン・ インターンシップ 実習

夏休みや春休みの約1ヶ月にわたって実施する課題解決・企画提案型の実践的なインターンシッププログラム。以下は受け入れ機関・企業等での過去のプロジェクト実践例です。

岩手：いわての木で造るおもちゃで「木育(もくいく)」プロジェクト etc
 福井：文房具店のテーマパーク化プロジェクト etc
 石川：道の駅の名物オリジナル新商品・新レシピ開発プロジェクト etc
 岡山：ITを活用した廃棄農作物の流通加速プロジェクト etc
 大阪：創業経営者と挑む顧客分析プロジェクト etc
 兵庫：日本の伝統文化「菰樽」の顧客ニーズ調査プロジェクト etc

スケジュール

春学期	秋学期
5月：説明会	10月：説明会
6月上旬：マッチング会	11月上旬：マッチング会
6月中旬：エントリーシート等の提出	11月中旬：エントリーシート等の提出
6月中旬～7月中旬：大学、企業等との面談	11月下旬～12月下旬：大学、企業等との面談
7月下旬：事前研修	1月下旬：事前研修
8月上旬～9月中旬：受入企業・団体での実習参加	2月上旬～3月中旬：受入企業・団体での実習参加
9月下旬：事後研修	3月下旬：事後研修



「社会と連携」した多彩な科目で 実践的に学ぶ

各学部の学問分野にとらわれない「学際領域」といわれる科目群です。社会の動向に学びながら、課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけた人材の育成を目指します。



学際科目のカリキュラム

■総合コース

現代社会に潜む様々な問題を多面的に考える力を身につける科目です。多彩なテーマでの開講があり、幅広い視野や知見を獲得できます。

■スタディスキルセミナー

大学での学びに不可欠な学習スキル（論理的に考える力、読む力、書く力、話す力、聴く力）を身につける科目です。少人数クラスの実践的な学びで着実に実力がアップします。

■社会探究入門

社会をなして生きている私たちは、学びの前提として、社会を探究できていなければなりません。「自由」「平和」「労働」などをキーワードとして、社会探究を始めるための「知的基礎体力」を身につけます。

■社会探究リサーチ・ベーシック

キャンパス内を中心に質問紙調査やインタビュー調査を行い、データの分析・考察を通じて「社会」を読み解くための「調査手法」の基礎を習得する入門科目です。

【A：定量編】：質問紙調査で収集したデータを統計分析し、仮説検証する方法を学びます。

【B：定性編】：インタビュー調査で収集したデータを分析し、モデル化する方法を学びます。

■社会探究実習Ⅰ・Ⅱ

豊島（てしま、香川県）、江田島（えたじま）・呉（広島県）をフィールドとして、地域という社会を探究するプログラムです。豊島では「環境」「コミュニティ」「観光」などをキーワードとして、島に暮らし続けることの将来を検討します（8月、2月）。江田島ではヒアリング調査を通じて「昭和20/1945年」当時の暮らしを探究し、「平和」をキーワードに呉の高校生と意見交換します（2月）。



Check!

スタディスキルセミナーでは4種類の科目を用意しています。

「読む・書く・話す・聴く」

大学生活だけでなく社会生活においても基本である「考える」「読む」「書く」「話す」「聴く」チカラを、実践的にトレーニングしていきます。

「論文作成」

大学での学びにとって不可欠な「学術的すなわち論理的に自分の考えを表現できる文章力」を学び、論文作成ができる力を身につけます。

「文章表現」

毎回違ったテーマについての文章を書くことで、自らの考えをまとめ、表現する力を養います。

「プレゼンテーション」

少人数授業などで頻りに求められるプレゼンテーション。説得力のあるプレゼンを行うための手法や表現力を身につけます。

学際科目のカリキュラム

■社会探究実践演習Ⅰ・Ⅱ

地域社会に接し、地域社会を「理解」すれば、必ず様々な課題に気づきます。その気づきを手がかりに、自らの立ち位置を確認し、地域の人たちとのコミュニケーションを通じて自らの問題を設定し、地域社会の課題解決に関わりを持つとチャレンジする科目です。授業は、週末に行う現地フィールドワークと、その事前準備（理論的検討、現状分析など）とで構成されます。「丹波焼き」や黒豆で有名な今田（篠山市）と、「竹田城跡」を抱く朝来市の竹田城下町がフィールドです。

■PBL特別演習

学生自らが課題を探究し、主体的に考え、行動する能力を培うことを目的に、企業や行政との連携・協力を得て実施する課題解決・企画提案型のプロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）科目。



001: 「福島から原発を考える」

福島第一原発事故等の現状について現地でのフィールドワークの実施を通して、日本の原発・エネルギー問題を考える授業。福島県庁職員やエネルギー問題の専門家など多彩なゲストからレクチャーを受け、原発、エネルギー、福島の復興に関連する調査研究を進め、研究成果を政策提言としてグループ発表します。

002: 「JETRO（日本貿易振興機構）×産研連携講座」

「EUとアジアの市場開拓／産業創出／貿易／企業進出におけるJETROの役割」をテーマに、企業候補の探索・検討、海外進出の事業計画書作成・発表等を行います。

004: 「富士ゼロックス兵庫(株)『志プロジェクト』」

学生が実社会における生きた経営学を学ぶ場を提供することを目的に、富士ゼロックス(株)が全国展開している大学と地元企業を結ぶ人材育成プロジェクト。授業では、兵庫県内に本社を置く企業と連携し、企業訪問、インタビュー（経営者、社員）や調査を経て、学生目線で企業の課題解決に取り組みます。

005: 「アントレプレナー養成講座」

実社会で活躍する起業家を講師に迎え、自身のアイデアをビジネスとして企画、立案していくために必要なスキルや思考法を理論だけでなく実践を通して学びます。終盤には起業家への事業提案を行い、フィードバックを受けることで自らの課題を認識することができます。この授業で学んだことを発揮して、インターンシップやPBL科目などの実践の場で活躍できるよう準備します。

006: 「公認会計士と挑む企業のビジネス課題」

有限責任あずさ監査法人の公認会計士を講師に迎え、企業会計に関する知識を身につけるとともに、その知識を活かして実在する企業の財務諸表を題材に、会計監査や業績改善のためのコンサルティング業務を体験し、活動成果としてチームごとに事業創造の提案を行います。社会人としてのプロ意識や社会で求められる力を間近で感じ、他学部の学生との交流を通して、自身の強み・特長の発見、コミュニケーション能力の向上にもつなげます。

007: 「阪急阪神ホールディングス(株) 社会課題解決PJ」《2019年度新設科目》

阪急阪神ホールディングス(株)と連携し、社会課題の解決に向けた事業提案にチームで挑戦するプロジェクト。同社が取り組む社会課題解決の事業事例を学び、まちづくりで果たす企業の役割や貢献、社会価値の創造、事業領域の開拓について理解します。その後チームで、フィールド調査等を経て、課題を抽出・設定し、学生視点も生かした具体的な事業を企業に提案します。



幅広い知識や視野、 豊かな人間性などを育成

本学のスクール・モットーやミッションへの理解、人権・平和を含む多角的視野を育む学びなどを通じ、“Mastery for Service”を体現できる世界市民としての基盤を育成します。



基盤科目のカリキュラム

■「関学」学

関西学院の創立、戦後の復興、大学紛争での経験などの歴史から、学院及び大学の礎への認識を深め、スクール・モットーの精神を学びます。

■人権教育科目

「部落差別」「在日朝鮮人」「ジェンダー」「障害」「多文化共生」「セクシュアリティ」などの多彩なテーマをとおして、時代の変化に伴い複雑化、国際化する人権問題について学びます。

■災害復興学

阪神・淡路大震災を経験した本学ならではの科目です。災害から得た教訓をどう普遍化し、社会とどう関わるべきか学び、考えます。

■平和学特別演習「ヒロシマ」

2004年より本学と関係の深い広島女学院大学の全面的協力を得て、実施している平和学習プログラム。現地では広島女学院大学の学生と、被爆者／語り部の方からの当時の体験談を聞いたり、平和記念式典へ参列したりするとともに、8月5日～6日は実際に広島市街で国内外からの旅行者や平和記念公園への参拝者に聞き取り調査等を行うことを通じて、改めて「平和とは何か」「平和とどうかかわっていくか」について、深く考え、学ぶ機会を提供しています。



Pick up 科目

災害復興学

春学期の入門では、阪神・淡路大震災を体験し、その後も防災や復興、被災者支援にあたっている実務家やNPOの人たちに震災の教訓を学びます。秋学期では法制度やNPOとの関わりなど災害復興研究の本題を学ぶとともに、受講者たちの災害への関心を高め、格差社会における復興とはなにか、さらに命を大切にする国のかたちはどうあるべきかについて考えます。

全学科目カリキュラムポリシー

関西学院大学では、「Mastery for Service」を体現する世界市民をめざし、学生が卒業時に学部の特徴なく共通して身につけておくべき知識・能力・資質を「Kwanseiコンピテンシー」として定めています。関西学院大学は、学生が「Kwanseiコンピテンシー」を身につけていくにあたり、学生の所属学部における専門的な学びを補完し、幅広い知識や視野、豊かな人間性等を育むことを目的として、全学科目を以下のとおり体系的に提供しています。

言語教育科目

グローバル化する社会において求められる多様な言語を高度に運用する能力を養成する。

スポーツ科学・健康科学科目

身体運動や心身に関する知識の修得とその実践を通してQOL (Quality of Life) の向上を目指す。

情報科学科目

情報化社会を生き抜くために必要となるICT (Information and Communication Technology) スキルの習得を通して課題解決能力を養成する。

AI活用人材育成科目

AI・データサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の諸問題を解決できる能力を有する人材を育成する。

グローバルスタディーズ科目

グローバル化する世界情勢や異文化への理解を深め、国際社会の発展に貢献できる世界市民を育成する。

ライフデザイン科目

自らと社会を知り、自らの将来をデザインする実践的かつ体系的な学びを通じて社会で求められる人間力を養成する。

基盤・学際科目

本学のスクール・モットーやミッションへの理解、人権・平和を含む多角的視野を育む学びなどを通じ、「Mastery for Service」を体現できる世界市民としての基盤を育成する。

G号館 MAP



ハンズオン・ラーニングセンター
(大学院1号館1階)

Kwansei Gakuin University Common Learning Program2019

発行：関西学院大学 教務機構
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 Tel. 0798-54-6180
http://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/